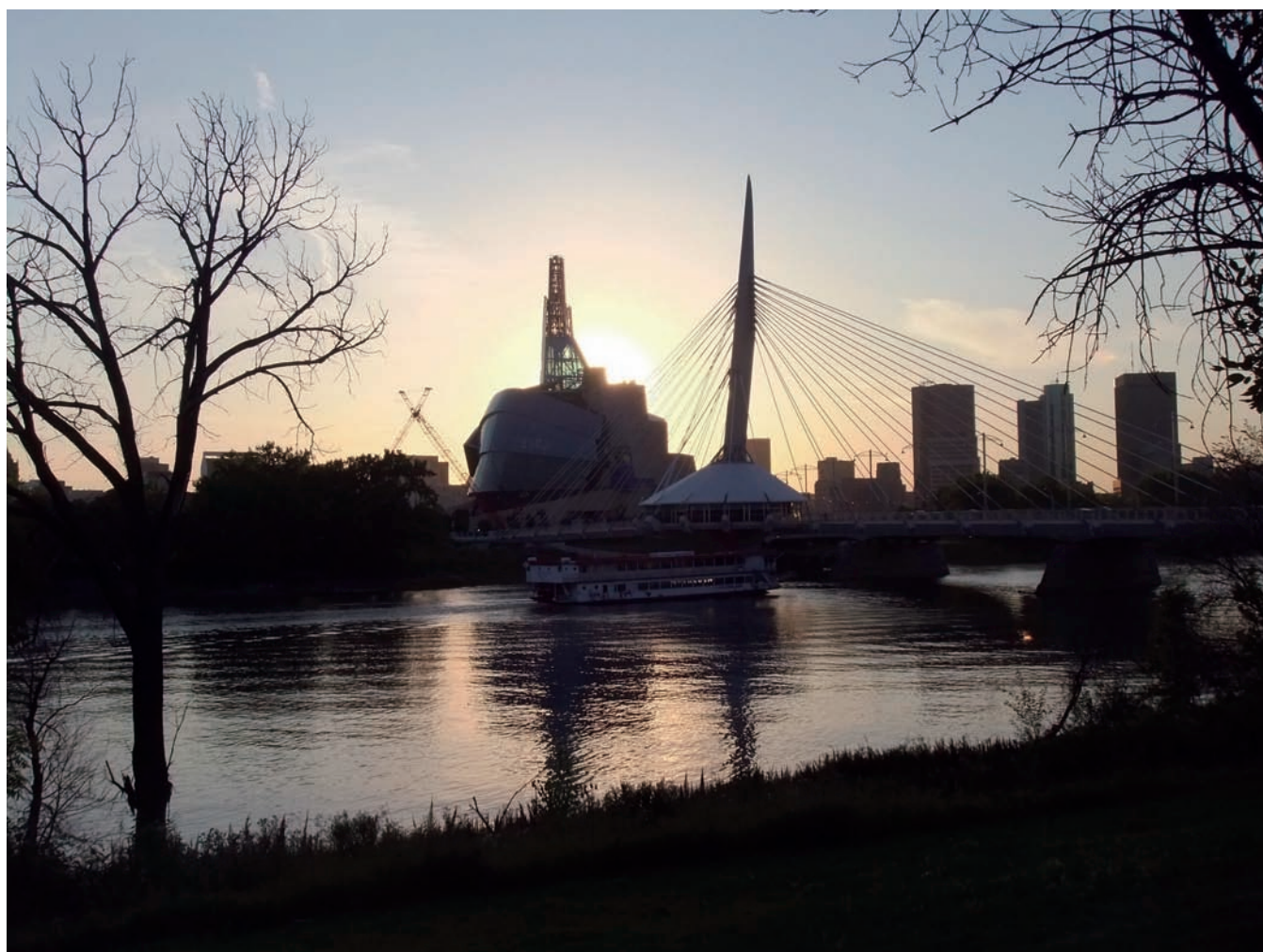




埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第56号

平成24年12月



巻 頭 言

副会長 稲 葉 宗 通



会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃より同窓会活動に対しまして、ご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

皆様に春号をお届けしてから半年が経過し、この短い期間に記憶に残るような社会的出来事や自然災害が内外で矢継ぎ早に起きました。特に地球温暖化の影響は世界各地に異常気象が起き、私たちの生活に大きく影響をもたらしています。日本の夏をみても、35度以上の猛暑日が連日9月まで続き熊谷、館林がニュースで話題にならない日がないほどで、日本で最も暑い地域であることを印象づけました。また東日本大震災の被害に遭われた方や原発事故で避難生活を余儀なくされている方々にとって、熱中症で亡くなる方がでるなど、避難所でより一層厳しい夏を過ごされたと思われます。また一方では、九州を始め西日本でのバケツをひっくり返したようなゲリラ豪雨、爆弾台風と呼ばれる巨大化した大型台風や各地での竜巻の発生といったこれまでにない大きな被害のでる自然災害が増えました。世界的にみても同様で、北極やグリーンランドの氷床がこれまでに4兆トンにも及ぶ減少とそれによる海面の1cmの上昇、砂漠化の増大、ハリケーンの巨大化、記憶に新しいところではハリケーンによるニューヨークを中心にしたアメリカ東海岸の大規模な停電など社会生活に大きく関わる災害は枚挙に暇がありません。大きな気象変化も毎年繰り返されることにより、天気予報でこれまで使われてきた“異常気象”は最近では死語になりつつあり、今起きている異常気象を“平年並み”“通常の”と表現される日が近づいて来ているように思われます。

社会的にも様々な出来事が話題になりました。我が国では震災からの復興が進まず、復興補助金の使途に問題が投げかけられ、沖縄の米軍基地問題とオスプレイ配備問題、そして低迷する経済に追い打ちを掛ける消費税問題。政治母体の脆弱から来る諸々の問題はこれからの日本にどのように影響するのでしょうか。その中で、日本の団結力を見せてくれたロンドンオリンピックは、女子レスリング、ボクシング、柔道、水泳

といった個人種目もさることながら女子バレーボール、女子バドミントン、女子卓球、水泳リレー競技、体操といった団体競技での活躍が目覚ましく、一本の明るい筋道を示してくれたのではないのでしょうか。

めまぐるしく変わる変化の中で、ここ毛呂山の地では、もみじや銀杏、ナナカマドなどの樹々が秋の衣装をまとったかと思うとあっという間に冬を迎える準備に入ってしまった。大学では、毛呂病院の白い木造二階建ての旧病棟が新しく学生ホールに、丸木記念館手前の二階建ての旧学生寮がグループ学習のための建物に生まれ変わろうとしています。ほかには、毛呂山キャンパスでは400mトラックを備えたグラウンドの建設、福祉棟（旧小島マンション）が外来棟に立て替えられる計画など、患者・学生のための環境整備が総合的深化的に進行しております。

きれいに稲刈りがされた田圃に囲まれた川越の総合医療センターでは、今夏に病院長が吉本先生から堤先生に交代し、更なる発展をしようとしております。高度救命救急センター棟と母子周産期センター棟の建設が進み、ともに日本有数の施設として完成が待たれるところであります。

そしてまだまだ緑の樹々に囲まれた国際医療センターは5周年を迎え、小山病院長のもとで順調に発展をしており、5周年記念式典が盛大に開催されました。

医学部の学生に目を向けますと、8月の海外交換留学制度で、当大学の学生22名中20名が無事に留学を修了致しました。各人の報告書を掲載致しました。みな充実した研修生活を体験したことがお分かり頂けるものと思います。また、6年生の卒業内定が決まり国家試験に向けての態勢が整いました。

このように埼玉医科大学は、理事長丸木清浩先生を中心に、医療の基本的考えである“Your Happiness is Our Happiness”を合い言葉に、その実現に向けて一丸となって邁進しているところです。

会員の皆様には、変化する母校に大いに期待を寄せて頂き、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。次第です。

お 知 ら せ

落合記念賞研究助成金の公募について

第24回落合記念賞研究助成金を公募します。

第24回落合記念賞研究助成金（若手研究者による、医学上将来性に富む研究に対して1件100万円を上限として毎年3～4件を対象に助成）を、下記の通り公募致しますのでご希望の方は所定の申請書をご提出下さい。

第24回落合記念賞研究助成金応募要項

1) 申請資格者

埼玉医科大学医学部同窓会会員（但し、教授・准教授・医学部学生は対象から除外する。）で、平成25年4月1日現在40歳未満の者とする。

2) 研究者

個人または複数であっても構わない。協同研究者が申請者の所属と異なっても構わない。

3) 研究期間

原則として2年以内に研究成果が得られる研究であること。

4) 申請に必要な書類（4～5枚1組）

*申請書—所定の書式用紙（3枚、7）に該当する者は4枚1組に記入のこと。

*推薦書—所属学科長ないしは科長、またはそれらに代わる者を推薦者として、所定の書式用紙に記入のこと。

5) 申請期間

平成25年1月15日～3月29日迄の間に、上記の申請書類一式を埼玉医科大学医学部同窓会事務局に提出のこと。

6) 助成金について

助成金は最高100万円までとする。

授与式は6月の同窓会総会で行う。

助成金の交付方法その他については、受賞者に総会終了後説明する。

なお、研究継続が不可能となった場合には、直ちに同窓会会長に報告するとともに、未使用額分の助成金は同窓会に返納しなければならない。

7) その他

申請の研究と同一とみなされる研究で、既に他の助成金の交付を受けている場合、あるいは申請中の場合には、申請書（4）にその内容を明記し提出のこと。なお同一の研究題目で既に他の助成を受けている場合は、応募をご遠慮下さい。

海外留学奨励助成金の公募について

医学部同窓会では、正会員の海外留学を支援するために、助成金の公募を行っています。募集要項及び助成金申請書をご希望の方は、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

* 申請資格

埼玉医科大学医学部同窓会正会員で、1年以上継続して医学研究のため海外留学を予定し、応募前年度までの年会費を完納している者。

* 募集期間（毎年）

前期 2月1日～7月31日

後期 8月1日～1月31日